

産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書

令和5年 6月 15日

（宛先）  
埼玉県西部環境管理事務所長



報告者 埼玉県狭山市広瀬台2-1-4  
株式会社 イワキ埼玉工場  
工場長 細沼勝晃  
（電話番号 04-2954-5121）

5  
令和~~5~~年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	株式会社イワキ埼玉工場
事業場の所在地	埼玉県狭山市広瀬台2-1-4
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
変更の概要	—
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	ポンプ・同装置製造業
② 事業の規模	1,562,767万円
③ 従業員数	322名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	社内にて発生した廃棄物を分別し廃棄物置場に保管し、一定量毎に収集運搬業者及び処分業者に処理を依頼している。 廃棄物に関して社内での再生利用、中間処理、埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 埼玉工場長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各従業員		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	木屑
	排出量	38.14 t
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底による排出量の削減を図った。	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	木屑
	排出量	35.00 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も分別の徹底による排出量の削減を図る。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内で啓蒙している。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現取組みを継続する。	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	—
	全処理委託量	38.14 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	38.14 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 木屑は粉碎し燃料等に再利用する業者へ依頼している。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	—
	全処理委託量	35.00 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	35.00 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現在の業者にて廃棄物のリサイクルは適切に行っており環境上の問題はないと判断する。</p>		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 埼玉工場長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各従業員			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	排出量	11.24 t	5.99 t
	(これまでに実施した取組) 分別の徹底による排出量の削減を図った。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	排出量	9.0 t	5.0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も分別の徹底による排出量の削減を図る。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内で啓蒙している。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現取組みを継続する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	全処理委託量	11.24 t	5.99 t
	優良認定処理業者への処理委託量	11.24 t	5.99 t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 現時点で優良認定処理業者に処理を委託している。		



② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	軟質プラスチック	硬質プラスチック
	全処理委託量	9.0 t	5.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	9.0 t	5.0 t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 継続して優良認定処理業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 埼玉工場長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各従業員			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(グリストラップ)	—
	排出量	4.0 t	— t
	(これまでに実施した取組) 3ヶ月に1回一定容量のグリストラップを清掃している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(グリストラップ)	—
	排出量	4.0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内で啓蒙している。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（グリストラップ）	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（グリストラップ）	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（グリストラップ）	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（グリストラップ）	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(グリストラップ)	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(グリストラップ)	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(グリストラップ)	—
	全処理委託量	4.0 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
(これまでに実施した取組) 現時点で優良認定業者に処理を委託している。			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(グリストラップ)	—
	全処理委託量	4.0 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 継続して優良認定処理業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
埼玉工場長  
↓  
特別管理産業廃棄物管理責任者  
↓  
各従業員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃薬液)	—
	排出量	0.106 t	t
	(これまでに実施した取組) 不要な薬液を購入しない様に社内啓蒙している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃薬液)	
	排出量	0.050 t	t
	(今後実施する予定の取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内で啓蒙している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃薬液）	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃薬液）	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃薬液）	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃薬液）	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃薬液）	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃薬液）	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（廃薬液）	—
	全処理委託量	0.106 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.106 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 現時点で優良認定業者に処理を委託している。		



② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(廃菜液)	—
	全処理委託量	0.050 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.050 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 継続して優良認定処理業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
 埼玉工場長  
 ↓  
 特別管理産業廃棄物管理責任者  
 ↓  
 各従業員

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	排出量	0.18 t	— t
	(これまで実施した取組) 入れ替えた旧OA機器が主なので余計な備品等を購入しない様に社内で啓蒙している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	排出量	0.10 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 余計な備品等を購入しない様に社内で啓蒙を続ける。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内で啓蒙している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、金属屑、ガラスくず)	—
	全処理委託量	0.18 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.18 t	— t
	再生利用者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 現時点で優良認定処理業者に処理を委託している。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	OA機器(廃プラスチック類、 金属屑、ガラスくず)	—
	全処理委託量	0.10 t	— t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.10 t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者へ の処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 継続して優良認定処理業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
埼玉工場長  
↓  
特別管理産業廃棄物管理責任者  
↓  
各従業員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油(非特管)	—
	排出量	1.791 t	— t
	(これまでに実施した取組) 不要な薬液等を購入しない様に社内にて啓蒙している。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油(非特管)	
	排出量	1.5 t	t
	(今後実施する予定の取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内にて啓蒙している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も上記啓蒙に努める。 排出量が少量の為、現取組みを継続する。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油（非特管）	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油（非特管）	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油（非特管）	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油（非特管）	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油（非特管）	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油（非特管）	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油（非特管）	—
	全処理委託量	1.791 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.791 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
（これまでに実施した取組） 現時点で優良認定処理業者に処理を委託している。			



② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現時点で優良認定処理業者に処理を委託している。 現状通り少量の適切な処理を続ける。</p>		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 埼玉工場長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各従業員		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)
	排出量	0 t
	(これまでに実施した取組) 多数の蛍光灯を無害なLED灯へ概ね変更したため、前年度は蛍光灯を排出していない。	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)
	排出量	0.03 t
	(今後実施する予定の取組) 概ねLED灯に変更したが、一部では蛍光灯を使用しているため今後少量ずつまとめて廃棄する予定である。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内で啓蒙している。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)	—
	全処理委託量	0 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 現時点で優良認定処理業者に処理を委託している。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類(蛍光灯)	—
	全処理委託量	0.03 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.03 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への処理委託を継続する。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
埼玉工場長  
↓  
特別管理産業廃棄物管理責任者  
↓  
各従業員

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	排出量	0 t	— t
	（これまでに実施した取組） 当初想定した量に満たなかったため、ガラスの廃棄を来期へ見送った。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	排出量	0.5 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 今後も少量ずつ排出する見込みの為、現取組みを継続する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 分別の徹底を社内で啓蒙している。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 排出量が少量の為、現取組みを継続する。

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	全処理委託量	0 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	— t
	(これまでに実施した取組) 現時点で優良認定処理業者に処理を委託している。		



② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス	—
	全処理委託量	0.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への処理委託を継続する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 埼玉工場長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各従業員			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	排出量	0.1 t	— t
	(これまでに実施した取組) 新品と入れ替えて古い既存品を廃棄した。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	排出量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 同等品の入替がない限り当該廃棄物は発生しない。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内で啓蒙している。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	全処理委託量	0.1 t	— t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	— t
	再生利用業者へ の処理委託量	0.1 t	— t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	— t
	(これまでに実施した取組) 不要な設備を導入しない様に社内で啓蒙している。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	スポットクーラー (廃プラスチック類、金属くず)	—
	全処理委託量	0.0 t	— t
	優良認定処理業者 への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者へ の処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 同等品の入替がない限り当該廃棄物は発生しない。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 埼玉工場長 ↓ 特別管理産業廃棄物管理責任者 ↓ 各従業員			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	排 出 量	1.8 t	— t
	(これまでに実施した取組) 古い既存品を廃棄した。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	排 出 量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 同等品の入替がない限り当該廃棄物は発生しない。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を社内で啓蒙している。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出量が少量の為、現取組みを継続する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	全処理委託量	1.8 t	— t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	— t
	再生利用業者へ の処理委託量	1.8 t	— t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	— t
	(これまでに実施した取組) 不要な設備を導入しない様に社内で啓蒙している。		



② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	パワーコラム (廃プラスチック類、金属くず)	—
	全処理委託量	0.0 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 同等品の入替がない限り当該廃棄物は発生しない。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
  - (2) ②欄には、製造業における製造品出荷額（前年度実績）、建設業における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関における病床数（前年度末時点）等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度の実績を記載すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載すること。
- 3 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量及び自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第300号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者）への処理委託量並びに認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「―」を記載すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。